

1998年度 学位論文紹介

岡山大学大学院理学研究科地学専攻

修士論文 1997.3

遠藤和美 大気赤外放射量の測定に及ぼす日射の影響に関する研究

大橋唯太 地表面過程を考慮した海陸風の数值シミュレーションの研究

修士論文 1999.3

難波佳代 岡山県内アメダス観測点の風の特性に関する研究

渡辺雅洋 パソコン・グラフィックスを利用した海陸風の数值シミュレーション

九州大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻

博士論文 1999.3

合屋研之 Non-Hydrostatic and Compressible 2-D Model Simulations of Internal Gravity Waves
(非静力学・圧縮性 2 次元数值モデルによる内部重力波シミュレーション)

修士論文 1999.3

西吉寿彦 大気大循環モデルを用いたオゾンホールが引き起こす大気大循環変動の見積もり

二宮純子 中層大気大循環モデル中の潮汐波変動の解析

米満 健 大気大循環モデルを用いた10日波に関する研究

渡辺真吾 詳細な化学反応を組み込んだ中層大気大循環モデルによる数值シミュレーション

京都大学大学院工学研究科電子通信工学専攻

修士論文 1999.3

松田知也 Study on Observation Methods of Atmospheric Dynamics with a Millimeter-Wave Doppler Radar
(ミリ波ドップラーレーダーを用いた大気運動の観測法に関する研究)

京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻

博士論文 1999.3

竹見哲也 Studies on the Structure, Evolution, and Maintenance Mechanism of a Severe Squall Line in an Arid Region

(乾燥地における激しいスコールラインの構造・発展及び維持メカニズムに関する研究)

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科

修士論文 1998.3

大森雄治 タイ バンコクにおけるヒートアイランドの計測

白 迎玖 上海におけるヒートアイランド現象

修士論文 1999.3

高橋俊行 熱帯都市におけるヒートアイランドの分析—バンコクにおける空間構造を中心として

筑波大学大学院地球科学研究科地理学・水文学専攻

博士論文 (論文博士) 1997.7

新村典子 Analytical Study on the Atmospheric Transport of Dust-Storm Particles in East Asia
(黄砂粒子をトレーサーとした東アジアにおける物質輸送の分析的研究)

博士論文 (論文博士) 1998.10

宮崎 真 The Role of Land-Atmosphere Interaction in the Seasonal Climate Variations over Mongolia
(モンゴルにおける気候の季節変化への地表面-大気相互作用の役割)

東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻

博士論文 (論文博士) 1999.3

鼎 信次郎 地域的な気候システムにおける地表面水文過程と水資源変動に関する研究

修士論文 1999.3

柏木研一郎 GMS 画像に基づく地表面水文量抽出システムの構築と、インドシナ半島におけるその応用

黒崎大輔 降雨レーダによる東南アジア熱帯域の雨量分布推定と降雨特性の解析

小林広道 GPS 大気遅延情報に基づく可降水量の推定と熱帯域への応用

東京大学大学院理学系研究科地球惑星物理学専攻

博士論文 1998.9

大内和良 熱帯の対流の階層的な組織化のメカニズム—2次元モデルによるスーパーク

ラウドクラスターの研究

- 博士論文 (論文博士) 1998.9
 加藤輝之 集中豪雨を生ずる降水バンドの発生・維持機構に関する数値的研究
- 博士論文 (論文博士) 1999.2
 古恵 亮 Importance of Local Interactions within the Small-Scale Oceanic Internal Wave Spectrum for Transferring Energy to Dissipation Scales: A Three-Dimensional Numerical Study
 (小規模内部波スペクトル中でのエネルギー輸送に対する局所的相互作用の重要性・3次元数値計算)
- 博士論文 1999.3
 河本和明 On the Global Distribution of the Water Cloud Microphysics Derived from AVHRR Satellite Remote Sensing
 (AVHRRを用いた衛星リモートセンシングから得られた水雲の微物理特性の全球分布について)
- 阪本敏浩 Classical Ocean General Circulation Theory Revisited Using Layer Models
 (古典海洋大循環論の層モデルを用いた再考察)
- 辻野博之 Modelling Study on Thermohaline Circulation in the Pacific Ocean
 (太平洋における熱塩循環の数値モデルによる研究)
- 中西幹郎 霧の内部構造と予報に関する数値的研究
- 那須野智江 熱帯低気圧のモデルにおける積雲対流スケールのパラメタリゼーションと対流の組織化に関する研究
- はしもとじょーじ 金星気候システムの安定性
- 傳 剛 An Observational and Numerical Study on Polar Lows over the Japan Sea
 (日本海のポーラーロウに関する観測的・数値的研究)
- 藤原正智 Controlling Processes for Tropical Tropospheric Ozone Revealed by 5-Year Observations in Indonesia
 (熱帯対流圏オゾンを支配する現象—インドネシアにおける五年間にわたるオゾン観測に基づいて—)
- 修士論文 1998.3
 黒川純一 対流圏光化学過程を組み込んだ大気大循環モデル (CCSR/NIES AGCM) による対流圏 O₃ グローバル分布の数値計算
- 修士論文 1999.3
 伊賀晋一 金星大気のスーパローテーションについて
- 泉 卓也 Interannual Variability in the Wintertime Heat Transport due to High-Frequency Transient Eddies and Stationary Monsoonal Flow over the Far East and Northwestern Pacific
 (冬の極東北西太平洋域における短周期移動性擾乱とモンスーンによる熱輸送にみられる経年変動)
- 岡 顕 海洋・簡易大気結合系における海洋大循環の振舞い
- 小倉知夫 The Influence of Antarctic Glaciation on Cenozoic Climate Change
 (新生代寒冷化における南極氷床形成の影響に関する数値実験)
- 黒田俊介 衛星搭載マイクロ波放射計と可視・近赤外放射計から得られた雲微物理量について
- 小林義英 全陸惑星の水輸送—AGCMによる検討—
- 佐藤尚毅 The Interdiurnal Variation of Summer Cumulus Convection over the Kanto Plain in Japan
 (夏の関東平野における積雲対流の日々変化)
- 竹村俊彦 A Study of Simulating Aerosol Distributions of Various Origins with a Numerical Climate Model
 (数値気候モデルによる様々な起源のエアロゾル分布の再現に関する研究)
- 千喜良稔 The Green Sahara at 6000 Years before Present~Mechanism of Mois-

- ture-Transport from the Tropics to the Sahara～
(6千年前における緑のサハラ～熱帯からサハラへの水蒸気輸送のメカニズム～)
- 張 業文 A Study of the Cloud Radiative Forcing with Use of Satellite and Objective Analysis Data
(人工衛星と客観解析データを使った雲放射強制力の研究)
- 堤 大地 太平洋十年規模変動の数値シミュレーション
- 長沢真樹 北太平洋深層での乱流拡散過程に供給される内部波エネルギーの時空間分布に関する数値的研究
- 藤原佳代 海洋内部波スペクトル内における励起スケールから散逸スケールまでのエネルギーカスケード過程に関する数値実験
- 安富奈津子 日本の冬季天候と大気大循環の年々変動についての解析的研究
- 山本陽子 南半球中緯度下部成層圏における重力波の解析
- 東京大学大学院理学系研究科地理学専攻**
博士論文 1999.3
木村圭司 シベリア高気圧の季節変化と年々変動
Cortez, Migel Large-Scale Climatological Study on Convective Activity in Mexico
(メキシコにおける対流活動に関する大気候学的研究)
- 修士論文 1999.3
森本真紀 琉球列島喜界島のサンゴ年輪解析によるヒブシサーマル期の気候復元
- 東京学芸大学大学院教育学研究科理科教育専攻**
修士論文 1998.3
名越利幸 斜面下降風の構造に関する研究
- 東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻**
博士論文 1999.3
木村玲二 Studies on the Evapotranspiration of Vegetated Surface in Semi-Arid Regions
(半乾燥域植生地における蒸発散の研究)
- 修士論文 1999.3
木村一洋 衛星データを用いた陸面熱収支に関するパラメータの推定
- 名古屋大学大学院理学研究科宇宙物理学専攻**
博士論文 1997.3.
杉田考史 北極と中緯度成層圏における窒素酸化物の化学的挙動に関する研究
- 名古屋大学大学院理学研究科素粒子宇宙物理専攻**
博士論文 (論文博士) 1998.5.
箕浦宏明 Ion Scavenging in Urban Precipitation
(都市降水中のイオン沈着挙動)
- 法政大学大学院人文科学研究科地理学専攻**
修士論文 1997.3
井後穂高 晴夜のスキー場斜面における気温分布と斜面下降風の温度的性質について
上原 浩 典型的な夏型日における関東地方の局地循環に関する気候学的研究
狩野真規 谷口に位置する市街地での大気環境の特徴について
- 修士論文 1999.3
大平一成 東北地方における日中の地表風分布に関する総観気候学的研究
佐川正人 北海道知床半島に冬季間吹走する強風の気候学的研究
松井裕介 長野県古海盆地における夜間安定層の推移について
- 北海道大学大学院地球環境科学研究科大気海洋圏環境科学専攻**
博士論文 1998.3
Kim, Yong-Won Study on Fluxes of Trace Gases through the Snowpack: Their Implications to the Global Budgets
(亜寒帯地域における積雪を通じた温室効果気体のフラックス: 地球規模収支への寄与に関する研究)
- 博士論文 1998.9
Seol, Dong-Il Variations of Stratosphere-Troposphere Circulation Estimated by the Transformed Eulerian-Mean Formalism
(変形オイラー平均方程式系によって見積もられた成層圏-対流圏循環の変動に関する研究)

博士論文 1998.12

豊田威信 A Study on Growth Processes of Sea Ice in the Southern Region of the Okhotsk Sea, Evaluated from Heat Budget and Sea Ice Sample Analysis (熱収支と海水サンプルの解析によるオホーツク海南部の海水の成長過程に関する研究)

野中正見 A Numerical Investigation of the Effects of the Subtropics on the Tropics through the Ocean Circulation (亜熱帯域が海洋循環を通じて熱帯域へ及ぼす影響に関する数値的研究)

博士論文 1999.3

牛山朋来 Thermodynamic Properties of Various Types of Precipitating Clouds in Tropics Retrieved from Dual-Doppler Radar observations (西部熱帯太平洋域で観測された様々な雲システムの熱力学特性に関する研究)

佐々木建一 Study on a Removal Mechanism of Phosphorus in Porewater of Coastal Sediment (沿岸堆積物間隙水中のリンの除去機構に関する研究)

Shin, Kyung-Hoon Studies on the Biological Production and Organic Matter Sinking Processes in the Ocean: Application of ^{13}C Tracer Method and Fatty Acids Biomarkers (海洋における生物生産と有機物沈降過程に関する研究— ^{13}C トレーサーと脂肪酸バイオマーカーの応用—)

ユヌス カマルザマン ビン Geochemistry of the Marine Sediments: Its Paleoclimatographic Significance (海洋堆積物の地球化学—その古海洋学的重要性)

修士論文 1999.3

足立憲昭 異なる型のセジメントトラップに捕捉された海洋の沈降粒子の化学成分とその実態

荒川 豊 南極海における海洋上層構造に関する研究

猪上 淳 噴火湾をモデル域とした大気混合層の発達と湾流への地形効果に関する数値的研究

伊藤 頼 β 平面上でのレンズ渦の挙動
今西克也 北部北太平洋エアロゾル中の極性有機化合物の経度分布と季節変化

大西ゆみ子 沿岸親潮の特性と季節・経年変動
小田美里 タスマン海における堆積環境の長期変動

加治 貴 北部北太平洋及びベーリング海における懸濁粒子中の脂質成分及び窒素・炭素安定同位体比に関する研究

間辺一雄 梅雨期、長崎半島周辺に出現するレインバンドの構造と降雨特性

喜多昭夫 ILAS データに基づく1996/97極渦周辺における微量成分分布の解析

工藤純子 東京湾から日本海溝への粒子移動メカニズム

國谷樹我 海洋大循環モデルを用いた北太平洋の10年～数十年スケール変動に関する研究

小日向邦夫 バルト海水縁域およびノースウォーター (NOW) ポリニア域における海水下乱流フラックスの観測研究

齋藤香織 熱帯気候の南北非対称性の形成に関わる大陸強制

笹原 歩 CFCs と SF_6 による大気海洋間気体交換過程の解明

佐藤文彦 落葉広葉樹林土壌における二酸化炭素放出の季節変動

竹本紀之 南大洋における深海堆積物中の脂質成分に関する研究

田中孝幸 西部北太平洋の溶存無機炭素中炭素同位体比—人為起源炭素の吸収量—

永倉真紀 2.5層水温躍層モデルにおける波動と大気強制に対する海洋の応答

成川正広 インドネシア森林火災によるエアロゾルの変質—低分子ジカルボン酸類の組成—

新海 仁 海水-海洋結合モデルにおける海水カテゴリーのパラメタリゼーション: オホーツク海への応用

- | | | | |
|-------|------------------------------------|------|---|
| 新家康裕 | 大気大循環モデルを用いた北極振動に関する研究 | | とドーム F での季節変化 |
| 早坂順一郎 | 日本海における沈降粒子の化学成分と周年変動 | 吉江直樹 | Seasonal Variations of Primary Productivity and <i>Chl.a</i> -Specific Productivity in the Western North Pacific (西部北太平洋における生物生産と同化指数の周年変動) |
| 日名子佳代 | 札幌における地上大気中 SF ₆ の経時変動 | | |
| 山本芳樹 | 南極降雪試料中の脂質成分に関する研究：昭和基地ドーム F 間での分布 | 渡部 威 | 地衡流乱流のスケーリング則に与えるエネルギー散逸の影響 |

編集後記：編集後記は、編集委員と事務局員が順番で書くことになっています。事務局員になって1年4か月たち、とうとう(やっど?) 順番が廻ってきました。

私は4~5号につき1回の割合で校正を担当しています。初めの頃は、気負いからか原稿の意味に触りかねないこともありましたが今では、遠藤さんの力を借り、執筆された方の意志を尊重して「異校正」を無くすよう極力努力しています。最近では8月号を担当しました。著者の方、内容の間違いなく掲載されていま

したでしょうか。

100%完全だとの自信をもって校了していますが、そう甘くはなく、今まで担当した号の中には何回かミスがあったことを白状します。著者や読者の方々に不利益となるような大きなミスは絶対に許されません。しかし、皆さんが、手作りの冊子ではなく一般刊行物と同様に人の手が介在しているを感じずに内容を見てもらえれば、担当の仕事は8割方満たしたと一時満足させてもらっています。(小田切さやか)

「天気」編集委員会

- | | | | |
|-------|-------------------|--------|---------------|
| 編集委員長 | 新野 宏(理事) | | |
| 編集委員 | 神沢 博(理事)・関口理郎(理事) | 地区編集委員 | 北海道 北見康男・上田 博 |
| | 藤部文昭(理事)・植田宏昭 | | 東北 栗原弘一・早坂忠裕 |
| | 大野滋規・小田切さやか | | 関東 河原幹雄 |
| | 大淵 濟・木下 仁・小出 寛 | | 中部 岩坂泰信・坪木和久 |
| | 小司禎教・住 明正・田口晶彦 | | 関西 半澤洋一・山中大学 |
| | 高橋 宙・中村 尚・新村典子 | | 九州 迫田優一・中島健介 |
| | 板東恭子・本田有機・別所康太郎 | | 沖縄 豊見山 浩 |
| | 水野孝則・水野 量・安田宏明 | 編集書記 | 遠藤和子 |
| | 山本 哲 | | |